科目名	, , <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , </u>							年度	2024
英語科目名								学期	後期
学科・学年	情報ビジネス科 1年次	必/選	選	時間数	45	単位数	1	種別※	実習
担当教員	近藤 圭子		教員の実務経験		有	実務経験の職種		秘書	

【科目の目的】

この科目の目的は、プレゼンテーションソフト (PowerPoint) を使って効果的な資料を作成し、相手の興味を引きつけるスキルを習得することです。単に資料を説明するだけでなく、相手の興味を引くために何を伝えるべきかを考え、プレゼンテーションの品質を向上させる能力を養います。

【科目の概要】

この科目では、プレゼンテーションソフトの基本的な操作から始め、資料のデザイン原則やストーリーテリングの テクニックについて学びます。さらに、単に情報を伝えるだけでなく、相手の興味を引くために何が必要かを考え るトレーニングを行います。実際のプレゼンテーション演習を通じて、プロフェッショナルなプレゼンテーション スキルを向上させます。

【到達目標】

プレゼンテーションソフトの活用 資料の効果的な作成とデザイン ストーリーの組み立てと説得力 コミュニケーションスキルと表現力 相手に興味を持ってもらうための工夫と訴求力

【授業の注意点】

この授業では、情報伝達であるプレゼンテーションを学びます。相手に伝えることを第一に考え、より効果的な伝達手法を授業で行います。また、大勢の前で話す事を繰り返し行い、相手に伝える事を学びます。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3 以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により内容が前後する場合もある。

評価基準=ルーブリック								
ルーブリック 評価			レベル 3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル 1 要努力			
到達目標 A	プレゼンテーションソフトを高度に活用し、効果 的な資料作成ができる	プレゼンテーションソフ トを正確に活用し、資料 作成がスムーズにできる	プレゼンテーションソフ トを基本的に活用し、資 料作成が行える	プレゼンテーションソフ トの活用が限定的であ り、資料作成が難しい	プレゼンテーションソフ トの活用が不十分であ り、資料作成ができない			
到達目標 B	資料のデザインや構成が 効果的であり、相手の注 意を引きつけることがで きる	資料のデザインや構成が 適切であり、相手に分か りやすく伝わる	資料のデザインや構成が 基本的に適切であり、情 報を伝えられる	資料のデザインや構成が 限定的であり、情報が混 乱することがある	資料のデザインや構成が 不十分であり、情報が整 理されていない			
到達目標 C	プレゼンテーションにス トーリー性があり、相手 を説得する力が高い	プレゼンテーションにス トーリー性があり、相手 に説得力を持って伝える ことができる	プレゼンテーションに基 本的なストーリー性があ り、情報を説得力を持っ て伝えることができる	ストーリーの組み立てが 限定的であり、説得力を 持って情報を伝えること が難しい	ストーリーの組み立てが 不十分であり、情報がば らばらになっている			
到達目標 D	自信を持ってブレゼン テーションを行い、表現 力や語彙力が豊かである	自信を持ってプレゼン テーションを行い、相手 に分かりやすく伝える力 がある	プレゼンテーションを行 えるが、表現力や語彙力 に課題がある	ブレゼンテーションが限 定的であり、表現力や語 彙力の向上が必要である	ブレゼンテーションが不 十分であり、表現力や語 棄力が不足している			
到達目標 E	相手の興味を引くための 工夫があり、情報を相手 に魅力的に訴求できる	相手の興味を引くための 工夫があり、情報を適切 に訴求できる	相手の興味を引くための 工夫が一部あり、情報を 訴求できる	工夫が限定的であり、相 手に興味を持ってもらう ための努力が必要である	工夫が不足しており、相 手に興味を持ってもらう ことが難しい			

【教科書】

【参考資料】

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【成績の評価方法・評価基準】

成果発表(口頭・実技) 50% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

交話表記 一数 授業の目的 授業内容 到達目標=修得するスキル プレゼンテーションの重 プレゼンテーションの重 フレゼンテーションの画 フレゼンテーションの画 フレゼンテーションの目的と基準を考慮した資料作成の方法 フレゼンテーションの目的と基準を考慮した資料作成の方法 フレゼンテーションの目的と基準を考慮した資料作成の方法 フレゼンテーションの目的と基準を考慮した資料作成 フレゼンテーションの目のと基準を考慮した資料作成 フレゼンテーションの フレゼンテーションの目のと基準を考慮した資料作成 フレゼンテーションの目のと基準を考慮した資料作成 フレゼンテーションの目の フレゼンテーションの目のと基準を考慮した資料作成 フレゼンテーションの カ法を学ぶ ファース PowerPointを使ったスライド作成の基本スキル ファース PowerPointを使ったスライド作成の基本スキル ファース PowerPointを使ったスライド作成の基本スキル ファース ファース PowerPointを使ったスライド作成の基本スキル ファース ファース PowerPointを使ったスライド作成の基本スキル ファース PowerPointを使ったスライド作成の基本スキル ファース ファース	3 3	
プレゼンテーションの重 プレゼンテーションの重 プレゼンテーションの重 プレゼンテーションの重 プレゼンテーションの重 プレゼンテーションの画 プレゼンテーションの目的と聴象を考慮した資料作成の方法 クーグ・ト	3 3 3	
1	3 3	
2	3 3	
フレゼンテーション	3 3	
プレゼンテーション フレゼンテーション 1 的設定 フレゼンテーション 1 の目的とターゲット 設定 フレゼンテーション 2 クーゲットオーディエン スの分析 ストーリーデリング 大部な要素と重要性を理解する ストーリーデリングの基本的な要素と重要性を理解する ストーリーデリングの基本的な要素と重要性を理解する フレゼンテーション の構成とストーリーボードの構成とストーリーボードの作成 ブレゼンテーション の構成とストーリーボードの ボード ボード ボード プレゼンテーション のオープニングとキャッチコピー フレゼンテーション のカープニングとキャッチコピー フレゼンテーション のチャッチコピー フレゼンテーション のチャッチコピー の重要性を学ぶ 1 映象の関心を引くオープニングとキャッチコピーの活用 1 映象の関心を引くオープニングとキャッチコピーの作成方法 2 一般象の関心を引くオープニングとキャッチコピーの活用 1 映象の関心を引くオープニングとキャッチコピーの作成方法 1 大レゼンテーションの作成 1 大レゼンテーション の作成 1 1 1 1 1 1 1 1 1	3 3	
2 の目的とターゲット 設定 的と膨胀の特性を考慮し た設計方法を学ぶ 2 スの分析 スの分析 ア・ゲットオーディエン スの分析 PowerPoint の基本操作を 習得する 1 PowerPoint のインター フェース スライドの追加と編集 PowerPoint を使ったスライド作成の基本スキル 4 資料のデザインと視 質的効果 資料のデザインと視覚的 効果を考慮した資料作成 方法を学ぶ 1 レイアウトの選択 色の活用 資料の魅力的なデザインと視覚的効果の追加方法 5 ストーリーテリングの基本的な要素と重要性を理解する ストーリーデリングの基本的な要素と重要性を理解する 1 エトーリーデリングを通じて情報を効果的に伝える方法 6 プレゼンテーションの構成とストーリーボードの情成とストーリーボードの情成を学ぶの構成とストーリーボードの作成を学ぶ プレゼンテーションの構成とストーリーボードの作成 手法 プレゼンテーションの構成と流れを計画しストーリーボードを 作成する方法 ストーリーボードの作成 手法 7 フレゼンテーション のオープニングとキャッチョビーの重要性を学ぶの作成 コープニングとキャッチョビーの重要性を学ぶの作成 1 実験の関心を引くオープニングとキャッチョビーの作成方法 2 東キッチョビーの活用 コビーの重要性を学ぶ	3 3	
Taxiff Jule 2 Taxiff Jul	3 3	
3 プレゼンテーション ソフト (PowerPoint) の基本操作を 習得する 1 PowerPointのが表本操作を 習得する 2 スライドの追加と編集 スライドの追加と編集 スライドの追加と編集 (表現作の) のまた (表現作の) 表現作の) (表現作の) を使ったスライド作成の基本スキル (力・インと視覚的効果の追加方法 (表現作の) をの活用 (ままれた) (表現作成の) 表現作成 (表現作成の) 表現作成 (表現作成の) 表現作成 (表現作成の) 表現作成 (表現作成を) (表現作成の) 表現作成 (表現作成成的) 表現作成 (表現作成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成成	3 3	
3 (PowerPoint) の基本操作を習得する 2 スライドの追加と編集 2 スライドの追加と編集 4 資料のデザインと視覚的効果のデザインと視覚的効果を考慮した資料作成 方法を学ぶ	3 3	
本操作 3 デキストと画像の挿入 4 資料のデザインと視覚的効果を考慮した資料作成方法を学ぶ 1 レイアウトの選択 資料の魅力的なデザインと視覚的効果の追加方法 5 ストーリーデリングの基本的な要素と重要性を理解する 2 色の活用 ストーリーデリングの構造とストーリーボードの構成とストーリーボードの構成とストーリーボードの構成とストーリーボードの作成を学ぶ ストーリーデリングの構成とストーリーボードの作成 手法 オープニングとキャッチコピーの重要性を学ぶ コピーの重要性を学ぶ 1 フレゼンテーションの構成とオープニングとキャッチコピーの作成方法 7 のオープニングとキャッチコピーの重要性を学ぶ コピーの重要性を学ぶ 3 1 聴衆の関心を引くオープニングとキャッチコピーの作成方法	3 3	
4 資料のデザインと視覚的効果	3 3	
4 資料のデザインと視覚的効果を考慮した資料作成方法を学ぶ 2 色の活用 5 ストーリーテリングの基本の基本 コストーリーテリングの基本を必要要性を理解する コストーリーテリングの構定を示して情報を効果的に伝える方法 6 アレゼンテーションの構成とストーリーボードの情成とストーリーボードの作成を学ぶ フレゼンテーションの構成とストーリーボードの作成手法 7 アレゼンテーショングとキャッチコピーの重要性を学ぶます。コピーの重要性を学ぶます。コピーの重要性を学ぶます。コピーの重要性を学ぶます。コピーの重要性を学ぶます。コピーの重要性を学ぶます。コピーの活用 1 単味を引くオープニングの作成を引くオープニングとキャッチコピーの作成方法 8 フレゼンテーションので成成と流れを計画しストーリーボードを成要素であります。 マトーリーボードの作成手法 コピーの主要性を学ぶます。 コピーの活用ます。 マトーリーボードをの作成を示しています。 コピーの活用ます。 コピーのまた。 コピーの主体を対象を表しています。 コピーの主体を対象を表しています。 コピーの主体を対象を表しています。 コピーの主体を対象を表しています。 コピーの主体を対象を表しています。 コピーの主体を対象を表しています。 コピーの主体を対象を表しています。 コピーの主体を対象を表しています。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を表していまする。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を示する。 コピーの主体を示する。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を表しています。 コピーの主体を表していまする。 コピーの主体を表していまする。 コピーの主体を表していまする。 コピ	3	
### 2	3	_
5 ストーリーテリングの基本的な要素と重要性を理解する 2 起承転結の導入 6 の構成とストーリー ボードの構成とストーリーボードの作成を学ぶ プレゼンテーションの構成とストーリーボードの作成を学ぶ プレゼンテーションの構成とストーリーボードの作成を学ぶ ストーリーボードの作成 手法 7 のオープニングとキャッチョピーの重要性を学ぶコピーの重要性を学ぶ 1 無験条の関心を引くオープニングとキャッチョピーの作成方法 8 ストーリーデリングを通じて情報を効果的に伝える方法 2 起承転結の導入 作成する方法 3 プレゼンテーションの構成と流れを計画しストーリーボードを作成 手法 3 事法 3 事業の関心を引くオープニングとキャッチョピーの作成方法	3	+
1 造 ストーリーテリングを通して情報を効果的に伝える方法 2 起承転給の導入 2 起承転給の導入 3 クライマックスの作成 プレゼンテーションの構成とストーリーボードの作成を学ぶ プレゼンテーションの構成とストーリーボードの作成を学ぶ 7 グレゼンテーションの作成を学ぶ プレゼンテーションの作成を学ぶ ストーリーボードの作成 手法 3 フレゼンテーションの作成を学ぶ プレゼンテーションの作成を学ぶ 事法 3 興味を引くオープニング 聴衆の関心を引くオープニングとキャッチコピーの作成方法 7 のオープニングと キャッチコピーの重要性を学ぶ 3 キャッチコピーの活用		
0 基本 本部は要素と重要性を理解する 2 度単転続の場外 3 クライマックスの作成 プレゼンテーション の構成とストーリーボードの構成とストーリーボードの作成を学ぶ 6 の構成とストーリー ボード 作成を学ぶ 7 プレゼンテーション プレゼンテーションの 作成を学ぶ 3 関味を引くオープニング の作成 カンテーションの かっ オープニングとキャッチョピーの作成方法 キャッチョピーの重要性を学ぶ 2 を理解があり場外 3 関果を引くオープニング 応収 4 キャッチョピーの重要性を学ぶ コピーの重要性を学ぶ 3 関連を引くオープニングとキャッチョピーの活用 コピーの活用 コピーの重要性を学ぶ		
3		
7レゼンテーションの構成とストーリーボードの構成とストーリーボードの構成とストーリーボードの構成とストーリーボードの作成を学ぶ 2 ストーリーボードの作成 手法 7 プレゼンテーションののオーブニングとキャッチョピーの重要性を学ぶコピーの重要性を学ぶコピーの重要性を学ぶ 1 成要素 作成する方法 2 フトーリーボードの作成 手法 3		
6 の構成とストーリー ボード 成とストーリーボードの 作成を学ぶ 2 ストーリーボードの作成 手法 7 プレゼンテーション のオープニングとキャッチョビー キャッチョビー プレゼンテーション オープニングとキャッチョ コピーの重要性を学ぶ 1 映衆の関心を引くオープニングとキャッチョビーの作成方法 をキャッチョビーの活用 3 キャッチョビーの活用	1	
#	Ī	
7 プレゼンテーション のオープニングとキャッチコピーの重要性を学ぶ 1 興味を引くオープニング 聴衆の関心を引くオープニングとキャッチコピーの作成方法 で作成 2 キャッチコピーの活用 3	3	
7 プレゼンテーション プレゼンテーションの のオープニングと オープニングとキャッチ コピーの重要性を学ぶ 2 キャッチコピー 3 3	3	+
キャッチコピー コピーの重要性を学ぶ 3	1	
	4	
	3	-
1 主張と根拠の結びつけ 資料の論理的な構造とポイントの効果的な強調方法 論理的なアプローチとポ		
8 世紀がなりとうとか とポイントの強調 イントの強調方法を学ぶ 2 ポイントの強調方法		
3	3	
1 グラフやチャートの作成 データと事例を説得力を持って伝える方法]	
9 ^{説传力(Dののすーグ} 持って挿入する方法を学 9 事例の挿入と解説		
3	3	
ストーリーの整合性の確プレゼンテーションの全体像を見直し		
プレゼンテーション プレゼンテーションの組 の組み立てと流れの か立てと流れを確認し、 スライドの流れの調整 効果的な流れを作り出す方法	1	
(権部 調整する方法をデか	3	
3 身振り手振り プレゼンテーションのビジュアルと表現力を高める方法	3	+
プレゼンテーション ブレゼンテーションのビ 1	+	
カ を図る <u>2</u>	1	
3 プレゼンスキルの向上 各自がプレゼンテーショー・バンニューンの付用として、18.5 かほりてコトンカー	3	+
プレゼンテーションの実 プレゼンテーションの実 1 フレゼンテーションの実践とフィードバックによるスキル同』	-	
12 の練育Cノイート クを通じてスキル向上を 2 ドバックを受ける	1	
3	3	\perp
以前のプレゼンテーショ プレゼンテーションの改善と継続的な練習の重要性を理解 プレゼンテーションの改善と継続的な練習の重要性を理解]	
13 プレゼンテーション プレゼンテーションの練	1	
3	3	
プレゼンテーションの録 1 画と評価用チェックリス プレゼンテーションを客観的に評価し改善のポイントを特定	ĺ	T
プレゼンテーション プレゼンテーションを録	1	
	3	
3 より は は は は は は は は は は は は は は は は は は	3	+
ブレゼンテーション ブレゼンテーションの最	1	
15 の取除完成と振り返り	1	
3	3	

評価方法:1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等